



ICANN73 政府諮問委員会(GAC) リモート会合報告

2022年4月26日

総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部 データ通信課

森下 大

目次

1. 政府諮問委員会(GAC)リモート会合の概要
2. 主な議題
3. その他

1. 政府諮問委員会(GAC)リモート会合の概要

- ① 開催日:2022年3月7日(月)～3月10日(木)
※ 2022年の1回目 (A会合:コミュニティフォーラム)
- ② 開催地:プエルトリコ サンファン
→ 新型コロナウイルス感染症の影響から全員がリモートで参加
- ③ 出席者:71か国・地域の政府、5の国際機関等(オブザーバー)
- ④ 主な議題:
 - (1) DNS不正利用 ← 総務省から発表を実施
 - (2) 分野別トップレベルドメイン名支持組織(GNSO)との会合
 - (3) WHOISとデータ保護ポリシーに関する議論
 - (4) その他

2. 主な議題

(1) DNS不正利用

1. 概要

- 欧州委員会が公表したDNS不正利用の研究報告書^{※1}に記載された「DNS不正利用の定義」について、意見交換を行った。
- 日本からDNS不正利用に関する新たな事例を共有して、DNS不正利用に関する対処について継続的に検討していくこととなった。

2. 総務省からの発言

(参考) [https://gac.icann.org/presentations/DNS Abuse slides.pdf](https://gac.icann.org/presentations/DNS%20Abuse%20slides.pdf)

- DNS不正利用の関係で、日本で確認された新たな不正利用の事案を紹介し、ICANNとしての対応策の検討を提案した。
→ 総務省の発言に関連する文書が、GACのコミュニケ(成果文書)に記載された。

1. 概要

- 同一と思われる不正行為者が**同じレジストラ**から**異なるドメイン名**を取得し、不正行為を継続している事例を紹介

2. 日本の提案

- ICANNコンプライアンス部門によるレジストラの監査^{※2}の継続的かつ効果的な実施
- ICANN内の他の組織や委員会との協力やTrusted Notifier Program^{※3}の活用など、DNS不正利用への対処に対する検討

※1 (欧州委員会報告書)<https://op.europa.eu/en/publication-detail/-/publication/7d16c267-7f1f-11ec-8c40-01aa75ed71a1/language-en/>

※2 (監査報告書)<https://www.icann.org/en/system/files/files/compliance-registrar-audit-report-2021-24aug21-en.pdf>

※3 レジストリ又はレジストラが第三者と契約を結び、第三者は、彼らが管理・登録したドメイン名による不正利用に対する監査を行うプログラムのこと。

2. 主な議題

(1) DNS不正利用

3. 主な発言

【LAUREEN KAPIN PSWG共同議長の発言】

- DNS不正利用に関する定義は、ICANN内でも複数あり、明確な定義は定まっていない。
- ICANNとレジストリ・レジストラの契約には、DNS不正利用への対処に関する規定が無く、改善の余地がある。

【Ivett Paulovics(欧州委員会の「DNS abuse study」の共同著者の発言)】

- 欧州委員会が提案する**DNS不正利用の定義**は、有害又は違法な活動を行うことを目的として、ドメイン名やDNSプロトコルを使用するあらゆる活動を指す幅広いものである。
- 欧州委員会は、「悪意を持って登録されたドメイン名」と「結果的に不正利用に使われたドメイン名」を区別するために、DNS不正利用を3つのカテゴリーに分類した。
 - ①不正利用を目的にドメイン名を登録して行う不正利用
 - ②DNSや他のインフラ設備の運用に関連する不正利用
 - ③有害なコンテンツの拡散に係る不正利用

【Susan E. Chalmers(米国のGAC代表)の発言】

- 欧州委員会の報告書に記されたDNS不正利用の定義は、ICANNの権限外であるインターネット上の有害かつ違法な活動も含まれている。

2. 主な議題

(2) 分野別トップレベルドメイン名支持組織(GNSO)との会合

1. 概要

- ICANNの分野別トップレベルドメイン支持組織(Generic Names Supporting Organization: GNSO)とGACの双方が関心を持つ政策問題(EPDP Phase 2A、データの正確性、DNS不正利用等)について議論した。

2. 会合における主な議論

【Philippe Fouquart (GNSO評議委員会委員長)の発言】

- GNSO内に作られたDNS不正利用に関する政策検討を行うグループが、自分たちの政策決定がDNS不正利用の解消に役立つものであるか、GACや他の組織の意見を聞きたいという意向から、GNSOからGACへ質問を送ったので、検討してほしい。

【Brian Beckham(GACメンバー WIPO IDR部門長)の発言】

- IGO(国際政府組織)の名称保護に関するEPDP※は、最終報告書の作成に向けて、作業を実施しており、近いうちに良い報告が出来るようにしたい。

※迅速版のポリシー作成プロセス(PDP)のこと。国際政府組織(IGO)の名称や略称について、新gTLD導入(2022年目処)の際にこれらの名称や略称を予約語として保護するために行っている。

【Manal Ismail(GAC議長)の発言】

- WHOISへ登録されたデータの正確性に関して、GACとGNSOは、共通した関心事項を持ち、理事会へ質問を送ったが、回答は同じ内容であり、引き続き理事会と議論していきたい。

2. 主な議題

(3) WHOISとデータ保護ポリシーに関する議論

1. 概要

- 新gTLDの新規申請の際、WHOISへ登録するデータについて、GNSOにおけるICANNの政策検討や政策に対するGACとしての助言の内容を検討する。
- 新gTLDの登録やSSADの運用、登録データの正確性に関する政策評価について、GAC内で検討していく。

2. 主な議論

- Laureen Kapin(PSWG共同議長)より、導入が検討されているSSADシステム(正当な目的を有する者が非開示情報へアクセスするためのシステム)へのICANN理事会によるODA(運用設計評価)が試算した運用費やシステム利用者の数字が大まかなものであり、疑問が残る旨の発言があった。
- CHRIS LEWIS EVANS(PSWG共同議長)より、新gTLDの登録のEPDPフェーズ1実行に向けたタイムラインの更新版が共有されて、ICANN73の会合後、フェーズ1の実行に向けて行動を進めていきたい旨の発言があった。
- Melina Stroungi(欧州委員会のGACメンバー)より、データの「正確性」の定義には、ICANNの使命(定款や契約等)に沿って、レジストリやレジストラがデータを収集して処理することだけでなく、登録したデータの検証、データの妥当性の確認、必要に応じた修正についても検討すべきであるという旨の発言があった。

2. 主な議題

(4) その他

① プレナリーセッション(ウクライナ関係)

- ウクライナ情勢の意見交換を実施した。
 - ウクライナ代表から、ウクライナが置かれた過酷な状況や、ICANNが表明した100万米ドルの資金支援に対する感謝の意を示す発言があった。
 - 米国やフランスなどの主要国からは、ロシアに対する非難や、ウクライナに対する哀悼・理解、ICANNによる資金支援への称賛、ICANNは政治的には中立であるべき旨の発言が相次いだ。
 - ロシア代表からは、ICANNは技術的な話題に特化すべき旨、発言があった。

② ICANN理事会との会合

- MAARTEN BOTTERMAN(ICANN理事)より、GACからのICANN理事会へ対する助言には感謝している旨の発言があった。
- GACメンバーから、GACの助言が政策決定を遅らせているのではないかという懸念に対して、ICANN理事会より、マルチステークホルダーシステムの維持のためには、GACの助言が必要との回答があった。

(参考)参考URL

(1) ICANN73 GACリモート会合のコミュニケ(成果文書)

[https://gac.icann.org/advice/communiques/ICANN73 GAC Communique.pdf](https://gac.icann.org/advice/communiques/ICANN73%20GAC%20Communique.pdf)

(2) ICANN72 GACリモート会合報告会資料

<https://www.nic.ad.jp/ja/materials/icann-report/20211214-ICANN/icann62-3-morishita.pdf>